

赤や黄や青きを折のかざらしけを立てたり蟬
 なく庭に
 切りたたる若竹の葉は白く枯れまなくし動く時
 命は喰くに

つきつめて亡き児をおもふ妻やせて氣づかひし
~~夏~~ ~~庭~~ ~~お~~ ~~ゆ~~ ~~か~~ ~~あ~~ ~~と~~ ~~す~~

夏山のあかときこめし霧なかに鴉の鳴きて居る
 は寂しき

雲齊れにフフ

紀伊水道 胎風園にありといふ船むかふ
 沖は雲を壓しをる
 船の上に昨夜いくらもねむらざりしわが
 眼をあぐの大瀧の前に
 小銭を本戸に納めて瀧の淵へ行手はくらく
 水烟噴く

漁火集

中村憲吉選

1307
1389
丙午

送香白。病中送致北野失礼任り矣
 十月号は小集
 送致休中
 神田 矩雄

二段組

ご子3

ご子5